

日本精蠟株式会社

2025年12月期 第2四半期

決算説明資料

2025年8月14日

東証スタンダード 5010



日本精蠟株式会社

目次

■ 会社概要	P.02
■ 2025年12月期 第2四半期 業績概要	P.06
■ 2025年12月期 通期 業績予想	P.13

会社概要

スペシャリティ・ワックスのグローバルリーダーとして いつも新たな価値をお客様にお届けします。

商号	日本精蠟株式会社
代表取締役社長	瀧本 丈平
設立	1951年2月10日（創業 1929年2月10日）
本社所在地	東京都中央区京橋2丁目5番18号 京橋創生館10階
資本金	1億円

従業員数	220名（単体） 271名（連結）（2025年6月末現在）
グループ会社	Nippon Seiro (Thailand) Co., Ltd. テクノワックス株式会社 周和産業株式会社 日精興産株式会社

事業内容

日本でただ1つ、ワックス＝蠟を専門に造っている会社です。今後も高い品質と技術によるスペシャリティーワックスのグローバルリーダーとして、お客様に新しい価値をお届けします。

製品用途

● タイヤ向けワックス（ゴム用途）

ゴム製品にワックスを練り込み、表面に薄膜をつくることで、空気中のオゾンによるゴムの劣化・ひび割れを防止します。

● トナー向けワックス（インキ用途）

トナーにワックスを混ぜることで、トナーが紙に印刷される際に、にじみを防止します。

● 蠟燭

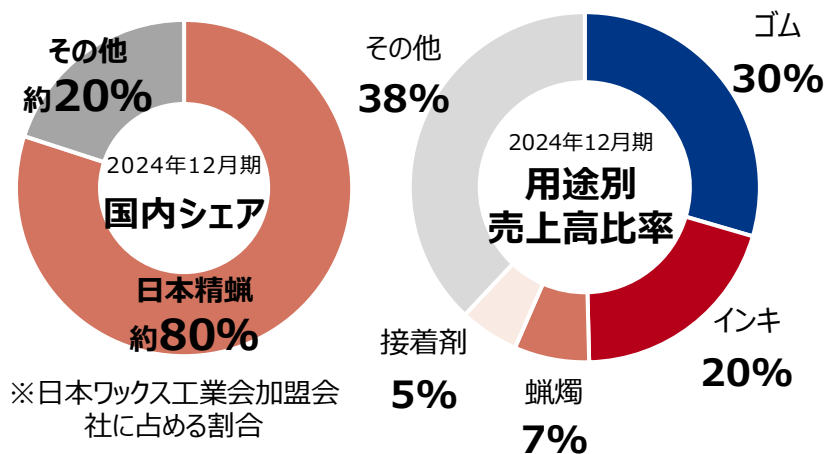
古くから神仏用として用いられ、近年は装飾用キャンドルとして、結婚式の演出やアロマキャンドルとして親しまれています。

● 接着剤用ワックス

接着性樹脂に混ぜて、流動性を持たせます。

● その他用途

食品、農林、化粧品など、幅広い用途に用いられています。



タイヤ



プリンタートナー



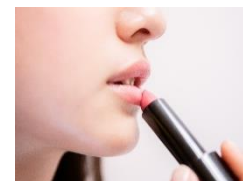
蠟燭



接着剤



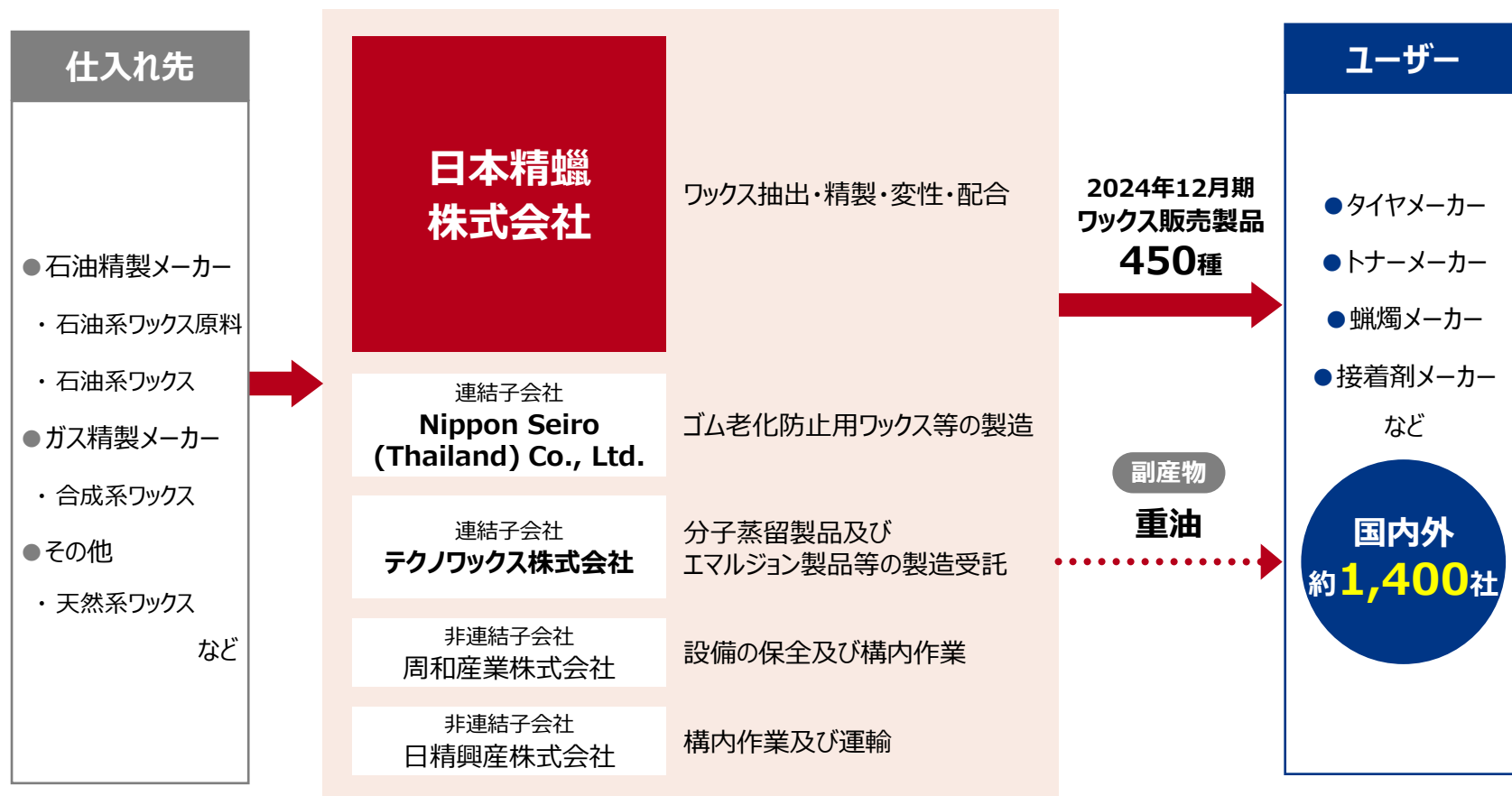
食品



化粧品

事業系統図

当社グループは主に石油精製メーカーからワックス原料を購入し、分離・精製・化学反応・配合をすることで、お客様(ユーザー)の求める性能・品質を持つワックス製品を製造し、様々な形状・形態で幅広い業界のお客様に当社製品をお使い頂いております。



2025年12月期 第2四半期 業績概要

2025年12月期第 2 四半期業績サマリー

当期は財務体質改善を目的に在庫削減を進める影響で
通期で前年比減の業績を予想しており
上半期においても売上高・利益ともに前年同期比減となりました。

	2023年 12月期	2024年 12月期		2025年 12月期	
	通期実績	第 2 四半期 実績	通期実績	第 2 四半期 実績	通期予想※
(単位：百万円)					
売上高	21,704	11,193	22,045	9,397	21,300
営業利益	▲552	1,193	2,245	521	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,221	855	1,776	266	790

※ 通期予想は、2025年 2 月14日開示の数値から変更ありません。

2025年12月期第2四半期営業利益

当期は、財務体質改善を目的に在庫削減を進めるため、前年に比較して減益となることを予想しております。

上半期においては、高付加価値なワックス製品の販売に注力し、不採算品の販売を削減したこと、世界経済の先行き不透明感などを背景として慎重な事業運営をされる顧客も多く見られたこと等の影響から減収となりました。加えて、在庫削減を進めた影響もあり、減益となりました。

(単位：百万円)	2024年 12月期	2025年 12月期			
	第2四半期実績	第2四半期実績	増減率	通期予想※	達成率
売上高	11,193	9,397	▲16.0%	21,300	44.1%
売上原価	8,884	7,712	▲13.2%	—	—
販売費及び一般管理費	1,115	1,163	+4.3%	—	—
営業利益	1,193	521	▲56.3%	1,400	37.2%
外部環境指標 Brent	\$84/bbl	\$71/bbl		\$85/bbl	
外部環境指標 Gas Oil	\$102/bbl	\$87/bbl		\$100/bbl	
外部環境指標 為替	151 JPY/USD	148 JPY/USD		145 JPY/USD	

※ 通期予想は、2025年2月14日開示の数値から変更ありません。

販売の概況

ワックス

前年同期比で数量▲17%・売上高▲12%となりましたが
単価は高付加価値品の販売比率の増加により+24円となりました。

■売上高	2024年12月期第2四半期			2025年12月期第2四半期			前年同期比		
	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]	数量 [ton]	単価 [円/kg]	金額 [百万円]
国内	12,741	527	6,726	11,750	546	6,416	▲990	+18	▲309
輸出	10,174	349	3,552	7,254	355	2,578	▲2,920	+6	▲974
ワックス計	22,916	448	10,278	19,004	473	8,995	▲3,911	+24	▲1,283
							▲17%	+5%	▲12%

重油

重油の生産量を更に削減し、逆ザヤ取引の販売は減少（数量▲54%）
しました。

■売上高	2024年12月期第2四半期			2025年12月期第2四半期			前年同期比		
	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]	数量 [KL]	単価 [円/KL]	金額 [百万円]
重油	8,649	97,081	839	4,000	83,722	334	▲4,649	▲13,359	▲504
							▲54%		

損益計算書（要約）

劣後ローン（当初借入額30億円）のうち6億円を5月21日に期限前弁済したことにより
支払利息の負担を軽減しました。

(単位：百万円)	2024年12月期		2025年12月期		第2四半期増減率
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	
売上高	11,193	22,045	9,397	21,300	▲16.0%
売上原価	8,884	17,470	7,712	—	
売上総利益	2,308	4,575	1,684	—	▲27.0%
販売費及び一般管理費	1,115	2,329	1,163	—	
営業利益	1,193	2,245	521	1,400	▲56.3%
営業外損益	▲266	▲563	▲236	—	
経常利益	926	1,682	285	860	▲69.2%
特別損益	▲8	▲23	▲14	—	
税引前当期純利益	917	1,658	270	830	▲70.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	855	1,776	266	790	▲68%

※ 通期予想は、2025年2月14日開示の数値から変更ありません。



貸借対照表（要約）

在庫削減の取り組みにより、棚卸資産が7.9億円減少しました。
また、劣後ローン返済の6億円を含め、負債が9.6億円減少しました。
引き続き、劣後ローンの早期返済を含め、財務体質の改善に努めます。

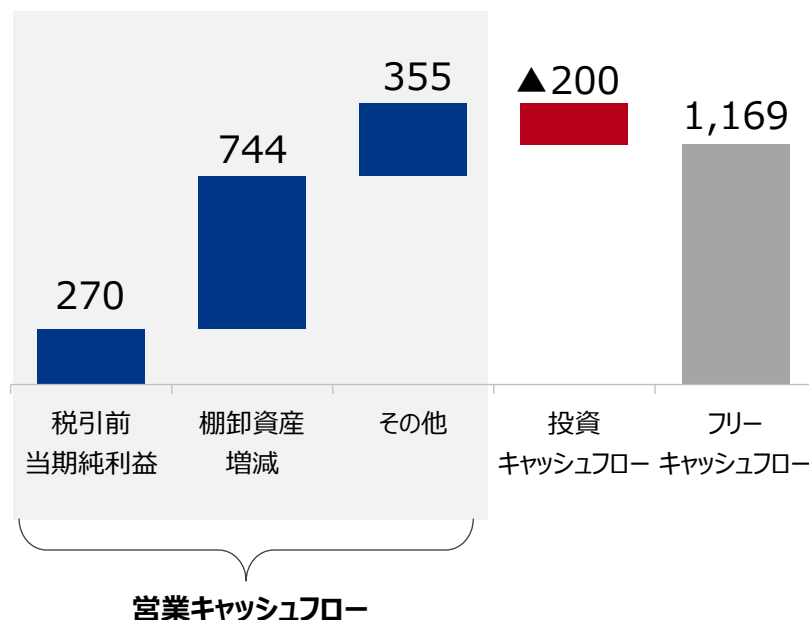
(単位：百万円)	2024年12月期 通期実績	2025年12月期 第2四半期実績	前期末比	
			増減額	増減率
資産合計	29,725	28,859	▲866	▲2.9%
流動資産	14,669	13,973	▲696	▲4.7%
現金及び預金	2,297	2,599	+302	+13.2%
受取手形・売掛金	2,675	2,532	▲143	▲5.4%
棚卸資産合計	9,526	8,733	▲792	▲8.3%
その他流動資産	171	108	▲62	▲36.7%
固定資産	15,055	14,885	▲170	▲1.1%
有形無形固定資産	14,316	14,179	▲136	▲0.9%
投資その他の資産	739	705	▲33	▲4.6%
負債合計	24,051	23,088	▲962	▲4.0%
流動負債	15,594	15,055	▲538	▲3.5%
固定負債	8,457	8,033	▲424	▲5.0%
純資産合計	5,673	5,770	+96	+1.7%
株主資本	▲3	261	+265	-%
その他の包括利益累計額	5,677	5,508	▲169	▲3.0%
負債純資産合計	29,725	28,859	▲866	▲2.9%

キャッシュフロー計算書（要約）

税引前当期純利益は前年同期比で減少したものの、在庫削減による棚卸資産の減少により営業キャッシュフローは前年同期比並みとなりました。

(単位：百万円)	2025年12月期 第2四半期実績	
	2024年12月期 第2四半期 実績	2025年12月期 第2四半期 実績
営業キャッシュフロー	1,390	1,370
税引前当期純利益	917	270
棚卸資産増減	▲47	744
その他	520	355
投資キャッシュフロー	▲92	▲200
フリーキャッシュフロー	1,297	1,169

■ 2025年12月期 第2四半期実績 (単位：百万円)



2025年12月期 通期 業績予想

2025年12月期業績予想

2025年12月期は重要施策として在庫削減を進めており、営業利益は前年比で減少しますが中期経営計画(23-27)並みを維持する予定です。

下半期には製品販売の回復を見込んでおり、2025年2月14日開示の通期予想の変更はいたしません。また下半期も在庫削減の取り組みを継続し、期首予想でお示した前年実績を上回るキャッシュフローを達成できる予定です。

(単位：百万円)	2024年12月期	2025年12月期		
	通期実績	第2四半期実績	通期予想	中期経営計画
売上高	22,045	9,397	21,300	28,600
営業利益	2,245	521	1,400	1,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,776	266	790	1,000
1株当たり配当金	0.0円	0.0円	0.0円	
営業キャッシュフロー	2,943	1,370	3,568	-
投資キャッシュフロー	▲149	▲200	▲603	-
フリーキャッシュフロー	2,793	1,169	2,965	-

なお、分配可能額の確保が見通せないことから、誠に遺憾ながら2025年12月期の配当は無配継続の予想とさせていただいており、中間配当についても実施いたしません。

未来を見据えた取り組み

未来へ繋がる足場固め「基盤強化期」と位置付け、上半期は以下の項目を実施しました。下半期も継続して実施して参ります。

新規高付加価値ワックスへの集中

- 顧客ニーズ・マーケット情報を確実に拾い上げ、新製品、新用途の開発を目指します。

上半期実績：タイヤ用途における原価低減処方の顧客提案、ライスワックスに関する特許出願

工場の強靱化に向けた投資

- 成長市場へ向けての新規製造設備投資、省力化・省人化投資、安全・安定操業投資を検討します。

上半期実績：徳山工場における設備リニューアルの素案策定

- 2024年12月期に開放検査周期の4年認定を取得したことから、2025年12月期の定修では4年連続稼働に向けた投資・補修を実施します。これにより2025年12月期の修繕費は増額となりますが、来期以降の単年度の定修引当金の金額は減少します。

上半期実績：定修を計画通り実施し、4年連続稼働の準備完了

その他

- サプライチェーン(原料調達～製品販売)のオペレーションの最適化を目指します。

上半期実績：コンサルティング会社の協力を得て、在庫水準の更なる最適化推進

- 人事制度改定（処遇改善等）などにより、社内外に魅力ある会社作りに努めます。

上半期実績：2025年4月に初任給の引き上げ、賃金制度の見直し等を実施

ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

● 当資料に関するお問い合わせ

日本精蠟株式会社
経営企画監査部

Mail : ir-otoiawase@seiro.co.jp

『中期経営計画（23-27）』に関しては下記からご参照ください。

[「中期経営計画（23-27）」策定に関するお知らせ](#)